

Title	地域の個性を伝える音声コンテンツの制作と提供システムの提案
Sub Title	The development of audio contents for conveying characteristics of local regions and a proposal of distribution system
Author	須田, 真実(Suda, Mami) 砂原, 秀樹(Sunahara, Hideki)
Publisher	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科
Publication year	2012
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	<p>都市開発や再開発, チェーン店進出による影響から地域風景の没個性化が進んでいる。また, 人々の生活環境や地域コミュニティの関わりの変化から現在までは人から人へと伝えられてきたような地域での情報共有も難しくなっている。</p> <p>外観からも中身からも個性がなくなっていくことが危惧されるが, 地域の個性を保ち続けることは観光産業や文化事業など情報発信の重要な素材となりうる。本研究では地域の個性を残し活用していくために, その地域に詳しい人々の経験や知識を蓄積し人々に伝え体験できる音声コンテンツと提供システム「GBvoice」を提案する。主に集音と提供に着目し地域住民にまちを歩きながらのインタビューを実施しどのような現象が起きるのか実験を行った。実験の中から音声は収集が簡易で語り手からより自然に興味深い話を引き出せる特徴があることが得られた。提供時にも地域の人々の話を現地で聞くことで, 興味を喚起し地域への理解を深めることが可能になると考える。実験をもとにシステムを設計し, 音声コンテンツと提供環境を実装した。評価実験から提案する音声コンテンツと提供システムが地域の情報を残し提供するために有用であることを見いだした。</p>
Notes	修士学位論文. 2012年度メディアデザイン学 第238号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40001001-00002012-0238

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

修士論文 2012年度（平成24年度）

地域の個性を伝える音声コンテンツの制作と
提供システムの提案

慶應義塾大学大学院
メディアデザイン研究科

須田 真実

本論文は慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科に
修士(メディアデザイン学)授与の要件として提出した修士論文である。

須田 真実

審査委員：

砂原 秀樹 教授 (主査)

南澤 孝太 特任講師 (副査)

古川 享 教授 (副査)

修士論文 2012年度（平成24年度）

地域の個性を伝える音声コンテンツの制作と 提供システムの提案

論文要旨

都市開発や再開発，チェーン店進出による影響から地域風景の没個性化が進んでいる。また，人々の生活環境や地域コミュニティの関わりの変化から現在までは人から人へと伝えられてきたような地域での情報共有も難しくなっている。外観からも中身からも個性がなくなっていくことが危惧されるが，地域の個性を保ち続けることは観光産業や文化事業など情報発信の重要な素材となりうる。

本研究では地域の個性を残し活用していくために，その地域に詳しい人々の経験や知識を蓄積し人々に伝え体験できる音声コンテンツと提供システム「GBvoice」を提案する。主に集音と提供に着目し地域住民にまちを歩きながらのインタビューを実施しどのような現象が起きるのか実験を行った。実験の中から音声は収集が簡易で語り手からより自然に興味深い話を引き出せる特徴があることが得られた。提供時にも地域の人々の話を現地で聞くことで，興味を喚起し地域への理解を深めることが可能になると考える。実験をもとにシステムを設計し，音声コンテンツと提供環境を実装した。評価実験から提案する音声コンテンツと提供システムが地域の情報を残し提供するために有用であることを見いだした。

キーワード：

位置情報，オーラルヒストリー，オーラルアーカイヴ，地域，音声コンテンツ，インタビュー

慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科

須田 真実

Abstract of Master's Thesis of Academic Year 2012

The Development of Audio Contents for Conveying
Characteristics of Local Regions and a Proposal of
Distribution System

Summary

The local charms of many areas are drastically disappearing due to urban re-development and increase of common chain stores. Moreover, the local history and traditions were orally handed down for a long time but changing lifestyles and communities makes it very difficult in these days. These trends unfortunately cause losing uniqueness of local areas in terms of sights and traditions and histories. Maintaining such a uniqueness of local area is significantly important for tourism industries, cultural businesses, and other local activities. In this study, I propose a system, namely "GBvoice," so that people can maintain the local uniqueness and then be familiar with the local area. GBvoice records many talks of various experiences and knowledge of people who are familiar with the local area. It then provides audio contents to enable users to have a vicarious experience and knowledge. The experimental results show that the audio contents are technically reasonable for maintaining the local uniqueness and help people to naturally talk various interesting stories. Also, a listener can be strongly interested in a local area by listening to the audio while walking around the area. Finally, I design a system of GBvoice based upon the results of these experiments. The evaluation experiment of this system shows that the contents and system may become useful for providing local information.

Keywords:

Location Information, Oral History, Oral Archive, Local Area, Interview

Graduate School of Media Design, Keio University

Mami Suda